

## 大学院生交流と若手研究者養成プログラム

## 大学院生交流

若手研究者の育成及び海外との研究協力の推進を目的として、大学院生が、一定期間、相互の研究機関に在留し、研究を実施できるよう支援した。

### 招へい

氏名： Delek Layton (米国エモリー大学心理学部)  
研究題目： Origin of shared attention  
期間： 2006年6月11日～2006年7月10日  
対応者： 板倉昭二 (文学研究科)

氏名： J.J.Kopecky (米国ミシガン大学心理学部)  
研究題目： Cultural differences in multitasking.  
期間： 2006年5月15日～2006年6月9日  
対応者： 齋木潤 (人間・環境学研究科)

### 派遣

氏名： 家島明彦 (教育方法学講座 博士後期課程2年)  
研究題目： Role of the fictitious character in adolescent personality development: What influence has the university student in Japan received from MANGA and ANIME?  
期間： 2006年5月2日～2006年5月8日  
渡航先： Illinois, USA, Second International Congress of Qualitative Inquiry (QI2006)

氏名： 前原由喜夫 (教育学研究科教育認知心理学講座 博士後期課程1年)  
研究題目： Working memory and hindsight bias  
期間： 2006年10月23日～11月26日  
渡航先： Department of Psychology, Lancaster University (UK)  
対応者： John N. Towse 教授

派遣者氏名： 上野泰治 (教育学研究科教育認知心理学講座 修士課程1年)  
研究題目： Binding mechanisms in working memory  
期間： 2007年2月13日～3月14日  
渡航先： Department of Psychology, University of York (UK)  
対応者： Alan D. Baddeley 教授

派遣者氏名： 森本裕子 (教育学研究科教育認知心理学講座 博士後期課程1年)  
研究題目： ゲーム状況の意思決定における文化差  
期間： 2006年6月23日～2006年8月2日  
渡航先： ミシガン大学 (アメリカ合衆国)  
対応者： 北山忍 教授

派遣者氏名： 小宮あすか (教育学研究科教育認知心理学講座 修士課程1年)  
研究題目： 二次感情が意思決定に及ぼす影響  
期間： 2006年6月23日～2006年8月2日  
渡航先： ミシガン大学 (アメリカ合衆国)  
受入対応者： 北山忍 教授

派遣者氏名： 田中優子 (教育学研究科教育認知心理学講座 博士後期課程1年)  
研究題目： 批判的思考の使用におけるメタ認知的判断の位置づけを検討する  
期間： 2006年7月23日～8月14日  
渡航先： Foundation for Critical Thinking (アメリカ合衆国)  
受入対応者： Richard Paul 教授

派遣者氏名： 沖部陽子（教育学研究科心理臨床学講座 修士課程2年）  
研究題目： 分析心理学的アプローチによる心理療法の理論と実践  
期間： 2007年2月1日～3月20日  
渡航先： Guggenbuehl Institute（スイス）  
受入対応者： A, Guggenbuehl 教授

派遣者氏名： 嶋田容子（文学研究科心理学専修 博士後期課程3年）  
研究題目： 乳児音声に対する成人の聴覚的感受性  
期間： 2006年9月13日～2006年10月9日  
渡航先： トロント大学児童研究所  
受入対応者： Kang Lee 教授

派遣者氏名： 田村綾菜（教育学研究科教育認知心理学講 修士課程2年）  
研究題目： Regulation of emotional expressions in childhood: Developmental change of motives and strategies  
期間： 2006年7月1日～2006年7月7日  
渡航先： Melbourne, Australia, the 19th Biennial Meeting of the International Society for the Study of Behavioural Development (ISSBD 2006)

派遣者氏名： 小川絢子（教育学研究科教育認知心理学講座 博士後期課程2年）  
研究題目： Developmental stages of young children's spatial perspective-taking ability: Similarity of children's reconstruction and drawings of object.  
期間： 2006年7月1日～7月8日  
渡航先： Melbourne, Australia, the 19th Biennial Meeting of the International Society for the Study of Behavioural Development (ISSBD 2006)

派遣者氏名： 河崎美保（教育学研究科教育認知心理学講座 博士後期課程2年）  
研究題目： The effects of peer's presentation of a solution in math class  
期間： 2006年10月26日～2006年12月6日  
渡航先： アメリカ, ピッツバーグ, Carnegie Mellon 大学  
対応者： Robert Siegler 教授（Carnegie-Mellon University, USA）

派遣者氏名： 溝川藍（教育学研究科教育認知心理学講座 修士課程1年）  
研究題目： 感情理解についての研究  
期間： 2007年2月3日～3月13日  
渡航先： ニュージーランド、オークランド、オークランド大学  
受入対応者： Emmanuel Manalo 教授（Auckland University, New Zealand）

## 若手研究者養成プログラム

大学院養成プログラムは、21世紀 COE「心の働きの総合的研究教育拠点」の研究プロジェクトに関連する優れた研究計画に対し、科学研究費に準ずる形式で大学院生の個別研究プロジェクトを支援するものである。すなわち、21COE心理学連合に参加する心理学系部局博士課程在籍の大学院学生を対象に、「募集人員10人程度、申請額は1件70万円程度」として公募を行い、20人の応募者の中から、厳正な審査により10件を採択した。下表に採択された10件の内容を示す。

平成18年度大学院養成プログラム研究発表会は、2007年3月28日（水）、京都大学時計台記念館2階・国際交流ホールIにおいて、実施予定である。

氏名	所属部局 研究テーマ	学 年	指導教官	交付額（千円）
池田尊司	文学研究科 研究テーマ「ワーキングメモリにおける色の情報処理メカニズムの検討」	博士2年	荻阪直行	500
大神田麻子	文学研究科 研究テーマ「就学前児の反応バイアスが意味するもの—メカニズムと文化差—」	博士2年	板倉昭二	500
酒井歩	文学研究科 研究テーマ「3次元視における絵画的奥行き手がかりの利用に関する比較認知科学的検討」	博士1年	藤田和生	500
中村哲之	文学研究科 研究テーマ「錯視知覚の進化に関する比較認知科学研究」	博士1年	藤田和生	500
平岡斉士	教育学研究科 研究テーマ「顔の記憶表象の特性—既知化の要因とその過程の検討—」	博士4年	吉川左紀子	500
山本良子	教育学研究科 研究テーマ「他者の不幸を嘆くこと、喜ぶこと—共感とシャーデンフロイデの発生に関わる状況要因の探索」	博士3年	遠藤利彦	295
家島明彦	教育学研究科 研究テーマ「人はマンガから何を学んで成長しているのか？—ナラティブから見るマンガの影響と自己形成—」	博士2年	山田洋子	500
小川絢子	教育学研究科 研究テーマ「幼児期における「心の理論」の発達に実行機能が果たす役割の解明」	博士2年	子安増生	500
大藪博記	教育学研究科 研究テーマ「表情と言語的情報が信頼性判断に及ぼす影響」	博士1年	吉川左紀子	500
高橋康介	情報学研究科 研究テーマ「動的な知覚対象に対する視覚触覚情報の統合過程の検討」	博士3年	齋木潤	500